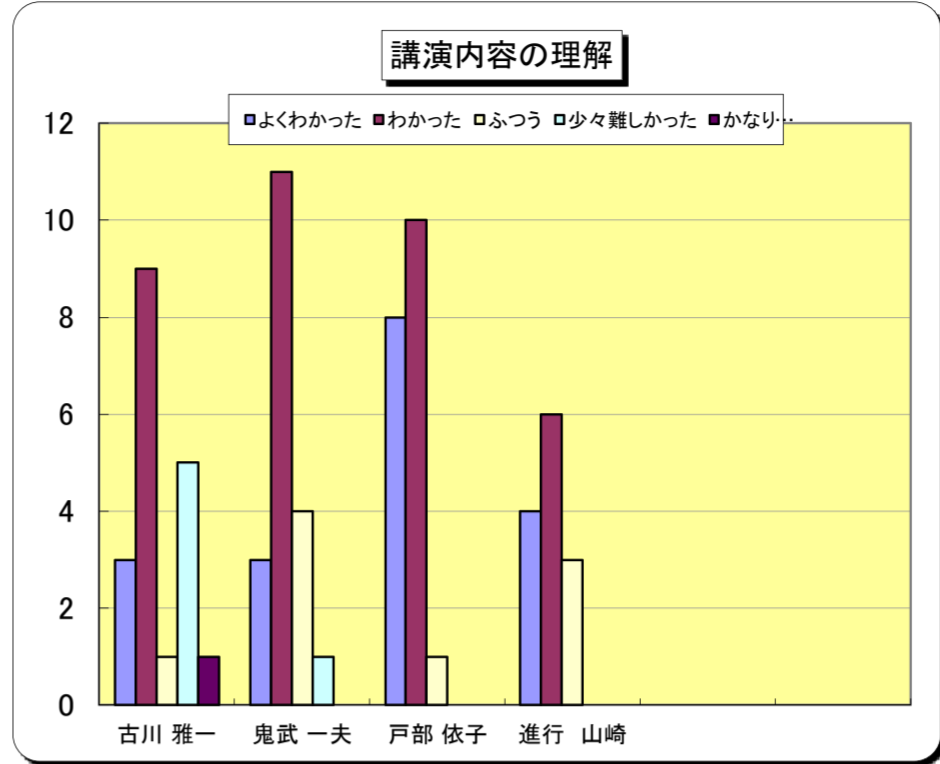


食のリスクコミュニケーション・フォーラム2015(4回シリーズ)
 第2回テーマ:「消費者目線のリスクのあり方」
 2015年6月28日(日)13:00~18:00
 於 東京大学農学部フードサイエンス棟内 中島董一郎記念ホール

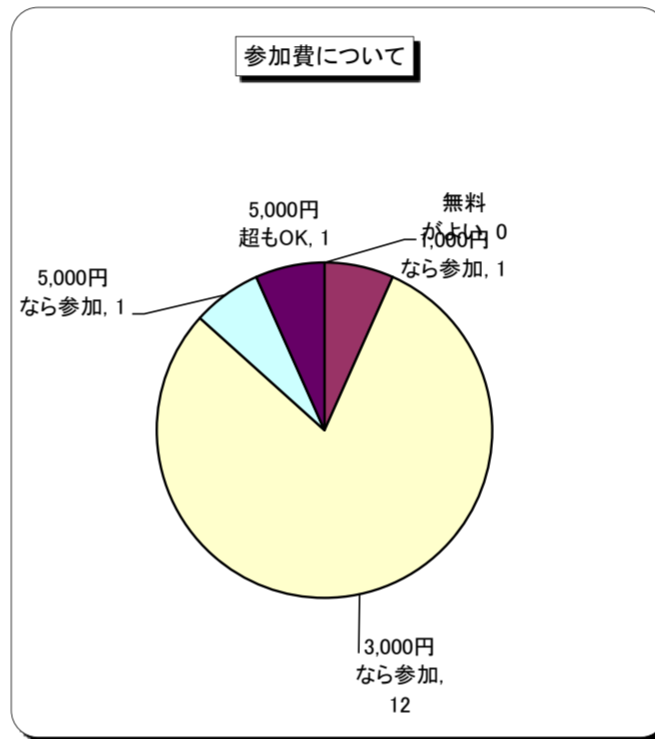


アンケート回収数19枚(参加者:34名、演者4名を除いた回収率:63%)

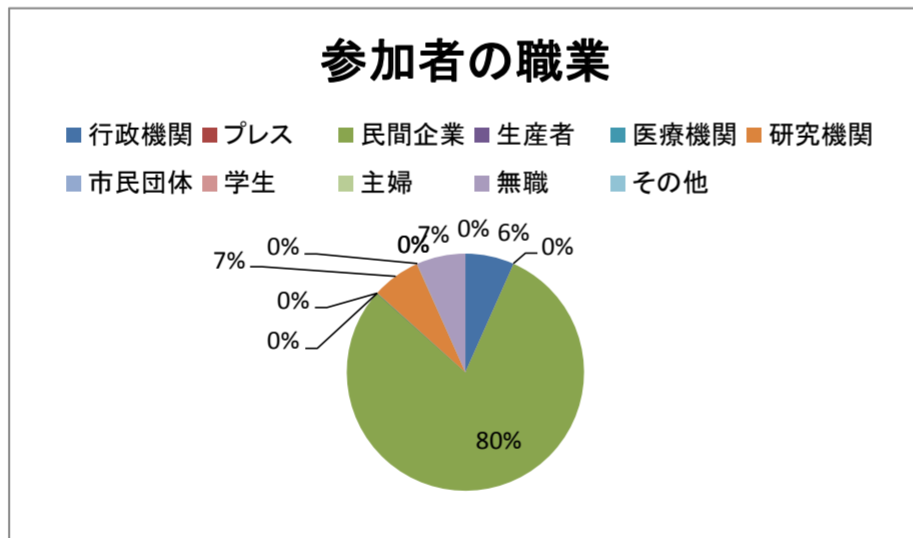
No.	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	消費者の購買行動に影響を与えるリスク	古川 雅一	3	9	1	5	1
2	国際的消費者視点のリスクのあり方	鬼武 一夫	3	11	4	1	0
3	消費者視点の食品企業のコミュニケーション	戸部 依子	8	10	1	0	0
4	パネル・ディスカッション:『食の安全・安心の最適化にリスクは有効か』	進行 山崎	4	6	3	0	0
5			0	0	0	0	0
6			0	0	0	0	0



	無料以下	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超もOK
今回のフォーラムの参加費(NPOへの賛助)についてどう思われますか?	0	1	12	1	1
今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	(別紙)				
今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか?	(別紙)				
当NPOがあなたにとって有益としたら、どんな事業活動を期待しますか?	(別紙)				
当NPOから季刊誌を発行しておりますが、無料購読を希望される方はあて先(郵便番号・住所・氏名・所属機関等)をご記入ください。	(別紙)				
当NPOから隔月でメルマガを発行しておりますが、無料購読を希望される方はメルアドをご記入ください。	(別紙)				



職業	人数
行政機関	1
プレス	0
民間企業	12
生産者	0
医療機関	0
研究機関	1
市民団体	0
学生	0
主婦	0
無職	1
その他	0



各講演やフォーラム/SFSSへのご意見・コメント:

コメント	講師
1 消費者の購買行動に影響を与えるリスク	古川 雅一
1 経済学的視点からみたリスクコミュニケーションは興味深かった。	
2 経済学の見方の基礎が分かった。	
3 自分の経験と照合することでよくわかりました。	
4 0	
5 コンジョイント分析という手法の紹介と消費者心理の捉え方が非常に参考になりました。	
6 感覚的に理解できる部分と難解な部分と両面あった。時間をもっとかけて詳しく話をききたいと感じました。	
7 0	
8 0	
9 0	
10 0	
11 0	
12 0	
13 理解は十分できなかったが全体のイメージはわかりました。	
14 経済学の知識からリスクコミュニケーションのアプローチを知ることができた。	
15 0	
16 0	
17 実際に使う場面が想像できず、話が難しかった。	
18 0	
19 0	

コメント	講師
2 国際的消費者視点のリスクのあり方	鬼武 一夫
1 リスクの国際比較は仕事の参考になった。	
2 EFSAの最近の工夫の紹介が良かった。日本も習うべき。	
3 EFSAのHPは後日チェックして勉強させていただきます。	
4 0	
5 リスクコミュニケーションの定義と各国の扱いが参考になりました。	
6 国際的な取り組みは勉強不足で知らないことが多かったが、一目でわかる「インフォグラフィック」は消費者とのリスクコミュニケーションには必須であると強く感じた。	
7 0	
8 0	
9 0	

10	0	
11	0	
12	0	
13	たいへんわかりやすい説明でした。	
14	欧州のRCの取組みが理解できた。	
15	定性的でも良いので日本は比較文化的にこうだという事例紹介があれば、更にわかり易いのではと思われた。	
16	0	
17	国によって定義が異なるということ、他にも初耳なことがたくさんありました。	
18	0	
19	0	

3 消費者視点の食品企業のコミュニケーション		戸部 依子
1	直近の事件への対応へ。新しい視点を得ることができた。	
2	消費者側の行動を想定した安全情報の注意までに広げたことは良かった。	
3	企業の品質の仕事をしています。本日の内容は大変役に立ちました。清掃記録のマッピングについては参考にさせていただきたいです。ワッシャー発見！貴重な情報ですね。ワッシャー単独では落ちない、ナットは？ボルトは？設備は正常に機能しているのか？調べるべきことが多いデータと反応しないといけませんね。すごく勉強になりました。	
4	0	
5	企業の視点と消費者の視点の変化がよく整理されているので参考になりました。	
6	今まさに直面している課題を具体的な事例から対応策を知ることができ勉強になった。異常時も大切だが、平常時にいかに想像して準備をすることが重要であることが理解できた。	
7	0	
8	0	
9	0	
10	0	
11	0	
12	具体的例示があり、わかりやすかった。	
13	具体的な事例をまじえてわかりやすかったと思います。	
14	消費者視点のコミュニケーションについて理解できた。	
15	0	
16	0	
17	自分の仕事を見直すにあたって、とても良い視点をいただきました。	
18	0	
19	0	

4 パネル・ディスカッション：『食の安全・安心の最適化にリスコムは有効か』		進行 山崎
1	食の安全への共通認識の形成に向け産官学が連携することが重要。	
2	パネル討論も色々あって参考になった。	
3	うまくまとめて進行されていたと思います。	
4	0	
5	多岐に亘る質問をよく取りまとめていただき大変参考になりました。	
6	0	
7	0	
8	0	
9	0	
10	0	
11	0	
12	0	
13	いつもながら適切な進行だったと思います。	
14	0	
15	0	
16	0	
17	古川先生や鬼武先生の話が先程よりわかりやすく感じました。	
18	0	
19	0	

7 今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。		
1	0	
2	三者三様の話題が良かった。	
3	難しい内容もありましたが良かったです。	
4	0	
5	0	
6	0	
7	0	
8	0	
9	0	
10	0	
11	0	
12	会場の空調温度が低すぎ？ ⇒ 【SFSS山崎より】申し訳ございません。空調制御が難しいのですが、次回より配慮できるよう検討します。	
13	0	
14	食品安全のリスクコミュニケーションを考えるうえで経済学や海外事例を学ぶことが有効であることがわかった。	
15	0	
16	0	
17	会場が冷房効きすぎて寒い。食品というよりコミュニケーションの話で自分が苦手なところなので難しかった。 ⇒ 【SFSS山崎より】12と同様です。内容についてもわかりやすい補足を考えたいと思います。	
18	0	
19	0	

8 今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？		
1	0	
2	0	
3	(冷静になって)「フードディフェンスについて」最近下火になっているように思いますが、また何かあると過剰になってしまうので、企業が底力をつける必要を感じています。	
4	0	
5	0	
6	0	
7	高齢者をテーマとした「安全・安心」な食のあり方	
8	0	
9	0	
10	0	
11	0	
12	0	
13	0	
14	今後の食品安全と他の分野のリスク管理を学ぶ企画を希望します。	
15	近年取りざたされている肉の生食が日本の文化であるかのようにすり替えられているが、そのトリガーとして使われる魚の生食もそれほど長い歴史がある訳ではないとのこと。日本の食文化との関わりの中での安全・安心が取り上げられてもおもしろいのでは。	
16	0	
17	一度離れたお客を再び呼びもどすには何が必要か。否定的な情報を普通の情報におきかえるには？	
18	0	
19	食の安全を高めるための従業員教育の方法・しくみ・考え方	

9 当NPOがあなたにとって有益としたら、どんな事業活動を期待しますか？		
1	0	
2	0	
3	0	
4	0	
5	0	
6	0	
7	フォーラム活動等を通じた各専門家からの情報提供及び共有	
8	0	
9	0	
10	0	

11	0	
12	0	
13	一般社会への啓発教育事業	
14	リスクマネジメントのKPI化や費用対効果など企業経営を共有できる取り組み	
15	0	
16	0	
17	0	
18	0	
19	0	